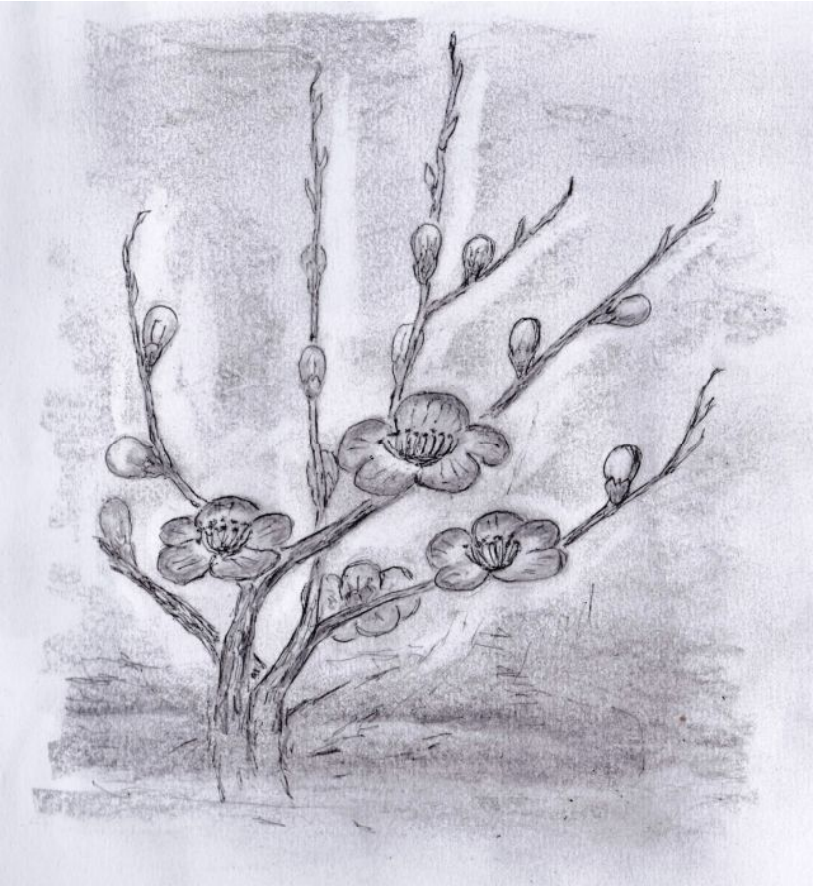
身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議　　２０１８年２月　第１１５号

吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議　会長/小田忠文　ホームページhttp://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm　設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106　中村小夜子　TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491　編集/会報委員会
年会費/正会員（個人･団体）1,000円、正会員（法人）10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円　郵便振込口座番号/00980-3-28845



目　次

１．表紙
２．会長コラムと表紙の絵説明
３．自然エネルギーすいた　＆
　生活環境委員会ニュース「森のクラフト」
４．生きもの委員会ニュース
　「大木調査 PartⅢは終盤に」
６．千里コラボ大学講座参加報告
　「千里の自然を見続けて」
７．「あルック吹田」散策会(12)旧吹田村コース
８．「ニュータウン人･縁卓会議」報告
10．私の本棚より「大原孫三郎の生涯」
　～わしの眼は十年先が見える～
11．吹田のトピックス
　「ヒメボタル生息地クリーン大作戦」＆
　「初詣　吹田市内八社巡り」
12．知床あれこれ　お知らせ　ほか

コラム

春夏秋冬

会長　小田忠文

環境配慮契約法という法律が10年前の2007年に議員立法で制定されました。これは国の機関を対象とした法律なのでなじみは薄いのですが、各省庁が使用する電気の購入や庁舎の設計や改修事業などは、価格だけではなく温室効果ガス排出削減効果などを考慮しながら、契約先を選定しなさいという法律です。▲しかしこの法律は原発の割合が高い電力会社も高評価になるものでした。その後2011年に福島原発事故を経験したこの法律のもと昨年2月、政府は電源構成の「見える化」を促し、消費者が電気を選ぶ際に役立つように官公庁が電気を買うとき、発電に用いる再生可能エネルギー（再エネ）の比率を公表することを決めました。▲目を吹田市に移すと、昨年9月末に吹田市は市が使う電力の購入先を再エネ比率の高い新電力会社に切り替えることを決め、再エネ比率を主な条件にした入札を行った結果、再エネ比率が関西電力の約４・４倍の新電力が落札したとのことです。▲「吹田はすごい！」と思いつつ世界に目を向けると、再エネ調達は国際的な企業の間で広がっていて昨年末で､世界全体で117社が｢再エネ１００％」を目指す方針「RE100」を掲げています。この117社には、米国のＧＭ、マイクロソフト、アップル、グーグル、ドイツのBMW、オランダのフィリップス、スウェーデンのイケアなど日本でもよく知られている企業が数多く含まれています。▲最近、RE100に加盟する企業は欧米にとどまらず、中国やインドの企業にも広がっています。日本ではリコー、積水ハウス、アスクルの３社が加盟していますが、日本の社会は大きく世界から遅れを取っていることは否めません。やがて「RE100を掲げていないと取引してもらえなくなる」などハンディが課せられる時代が来ることでしょう。▲そのような中、すいた市民環境会議（当会）が多くの人々の支援を受けて設置した「吹田ぷくぷく市民共同発電所」は昨年11,7754kwhを発電しました。この発電量に見合う金額をぷくぷくさんからご寄付という形で当会にいただきます。その金額を積み立てて、協力金をいただいた方々に５年後にお返しして、余剰金は次の市民共同発電所設置に回すのです。これが市民共同発電所の仕組みです。▲この仕組みを吹田市内でもっと増やすことはできないでしょうか。わずか10kWでも太陽光発電システムが避難所にあれば携帯電話の電源が確保されるでしょうし、お湯を沸かして赤ちゃんのミルク作ることもできます。災害時には小･中学校が避難所になります。そのようなところにこそみんなの力で市民共同発電所設置を設置していきたいものです。▲でも、吹田市のルールでは電力会社に売った発電電力の金額を次の市民共同発電所設置に回すことはできないのです。発電量に応じた金額を市民団体に補助金の名目で出せるようなルールができるといいなと思っています。冒頭に述べた環境配慮契約法という国のルールが議員立法でできたように。

＜表紙の絵＞　　吹田の生きものシリーズ（１５）

ウ　メ（バラ科・サクラ属）

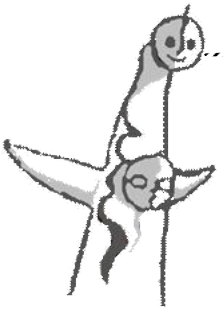
ウメの原産地は中国。奈良時代の中国との交流によって、花の色や香りなどを楽しむ観賞用として渡来したらしいが、画題や家紋に取り入れられ我が国に溶け込んでいる。

観賞のしかたも、個々の花の色や形を楽しむ庭園の古木や盆栽、また、ウメを集めて楽しむ梅園などさまざまである。

「梅干」と聞くだけで、唾液が出る方もあり、その酸っぱさは独特で、「日の丸弁当」を思い起こすが、今では死語になり、酸味を使った料理や菓子は多岐にわたっている。

節分が過ぎ、寒さが和らぎ始めたころの夕暮れ時、そこはかとなく漂う花の香りで、春か来たことを知り、去年の初夏に漬けた「梅酒」を思い出す。

（表紙の絵と文：生きもの委員　塩田 敏治）

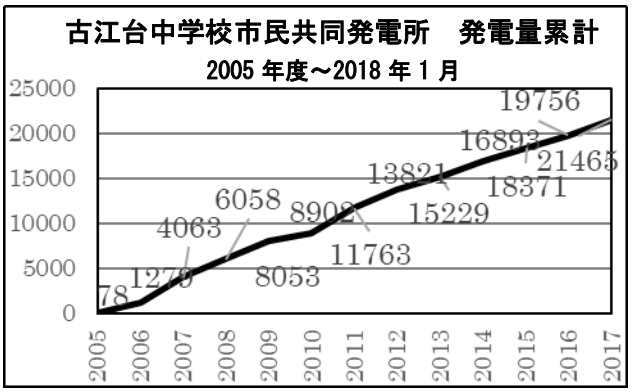


「自然エネルギーすいた」報告

報告：喜田久美子

1基目

2006 年設置の
古江台中学校市民共同発電所
元気です！



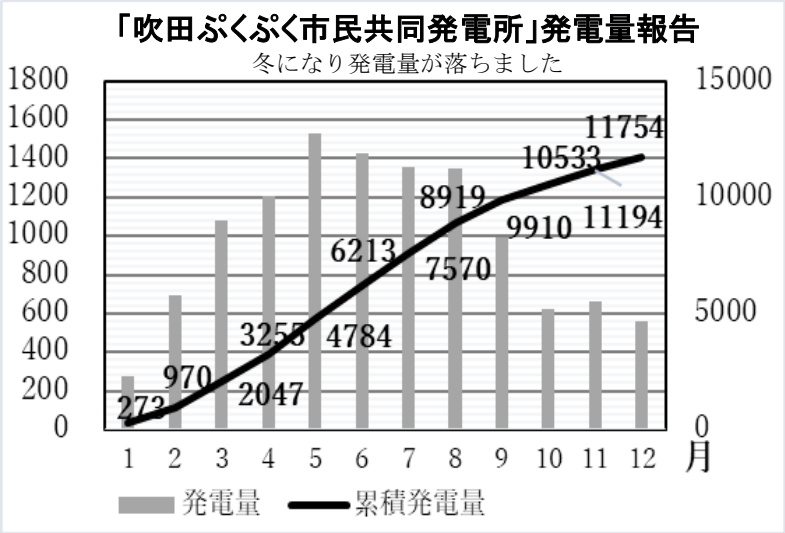
今回は、吹田市での初めての市民共同発電所について。1 基目は、2006 年 2 月に点灯した古江台中学校中庭の 2.2kW の太陽光発電システムです。当会や千里竹の会、古中 PTA、ディオス北千里専門店会、地域団体などが共同し、多くの市民からの寄付のほか、市や府からの助成金も得て設置しました。

当時は 2kW のシステムで 200 万円かかりました。2017 年設置のぷくぷく市民共同発電所は 9.4kW で 260 万円ですから、設置費用は今の 3 倍以上も高かかったことになります。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

2017 年 10 月　大木調査で立ち寄りました

設置して 12 年、歴代の校長先生、教頭先生が激務の合間にデータをお送りくださっています。途中で表示機器の故障や校舎工事などのためデータが取れないこともありましたが、この 1 月で発電量累計は 21,465kWh となりました。日々、中学校の電気の一部として使われています。

2基目



生活環境委員会 ・・・・・NEWS

12 月 14 日（木）江坂大池地区公民館主催で森のクラフトを実施しました。参加者は 16 人。テーマはクリスマスリースやお正月飾り。昨年に続き 2 度目の開催とあってリピーターもおられました。また大人だけの集まりだからか、落ち着いたゆったりした時間が流れて、個性あふれる素敵な作品ができました。（スタッフ：大倉・小田・富・安田・喜田）

▼これでクリスマスやお正月を彩ります！

大木調査 PartⅢは終盤に

生きもの委員会　平　軍二

1. これまでの大木調査結果(1/21 現在)

昨年３月より開始した大木調査 PartⅢ(2017)は１月 21 日現在で 1547 本、これまで調査した範囲は、PartⅡで大木 818 本（＝88%）が確認された地域に相当するので、PartⅡ比大木増加は 1.9 倍となっている。調査は順調に進んでおり、今年度（3 月）中には終了できる見通しとなった。

- 調査回数　　62 回
- 調査協力者　　456 名(7.4 名／回)
- 調査した本数　1629 本(26.3 本／回)
- 合格本数　　1547 本(25.0 本／回)
- 調査地域 PartⅡ本数　　818 本
  - 現存していた本数　654 本
  - 無くなった本数　　164 本（20%）
- PartⅡ比　大木増加　　1.9 倍
- 新規大木数　　893 本
  - 大木数の 58%に相当

大木本数は千里ニュータウンや都市公園のみでなく、市内全域で増加傾向が続いている。

２．木々が大木・巨樹レベルに到達するのは

大木調査 PartⅢは万博公園や千里ニュータウンなど大木が集中していた上、測定しやすい場所からスタートしたが、夏～秋にスズメバチを警戒し残していた樹林の多い地域、千里第 4 緑地・紫金山公園・春日などの調査に入っている。PartⅡで大木が少なかった樹林や、ニュータウン以外の住宅地になるが、、ニュータウン以上に大木が増加している。例えば、

（前号報告）第 1～53 回調査　2007 年 PartⅡ　737 本 →PartⅢ　1351 本（1.8 倍）
（最新状況）第 54～62 回調査 2007 年 PartⅡ　81 本 →PartⅢ　196 本（2.4 倍）

となっている。

この理由は、樹林のアベマキなどが、昭和 40 年代から始まった燃料革命で利用されなくなり、切られないまま残っていること、また民家の庭に植栽されたソメイヨシノなども、新規に大木ラインに到達しつつあることによる。

木の樹種や生育場所によって、太くなるスピード＝幹周り増加度合いが異なるので断定できないが、吹田市にある樹木の幹周りと樹齢の関係は、

- 植樹（or 伐採地）50 年後 ≒
  幹周り 200 ㎝以上（吹田市の大木レベル）
- 植樹（or 伐採地）100 年後 ≒
  幹周り 300 ㎝以上（全国の巨樹レベル）

が大よその目安になると思われる。

20170710 内本町民家クスノキ幹周り 473 ㎝
（明治維新直後植栽　樹齢約 150 年）
年輪幅約 5 ㎜≒4730 ㎜／150 年／3.14／2

３．樹種や場所による木の生長について

例えば、万博公園では樹木が密生している樹林にほとんど大木がないのに対し、芝生広場の真ん中にある木や、大通りの両側に間隔をあけて植栽された並木に大木が多い。この理由は、密生している林では木の枝の広げる範囲が狭いため１本の木が受ける太陽光が少ないが、まばらに植えられた木は枝を大きく広げることができ、太陽光を受けやすいことによる。

木々は葉に太陽からの光エネルギーを受け、空気中にある炭酸ガスと地中から吸い上げた水分から、セルロースを作り、幹となる。この反応は**光合成反応**と呼ばれ、右図の反応により、空気中の炭酸ガスを減らすと同時に酸素を増やしている。一般に木々を植えると「空気が清浄になる、温室効果ガスが抑制される」と言われる理由を、この反応式からわかってもらえると思われる。

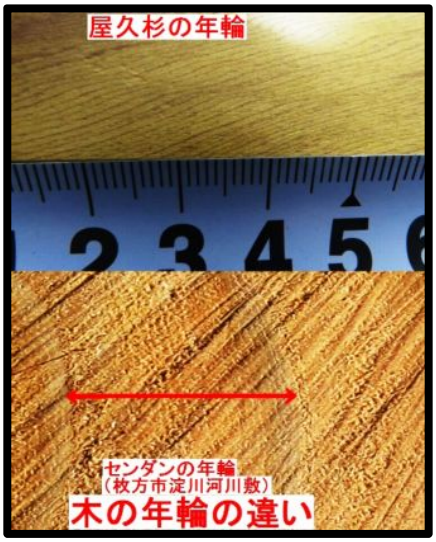
（光合成の反応式）

炭酸ガス　水　セルロース　水　酸素

$$6CO_2 + 12H_2O \rightarrow C_6H_{12}O_6 + 6H_2O + 6O_2$$

↑（光エネルギー）

光合成で作られたセルロース（植物細胞）は、木の幹の最外側へ積み重ねられ年々太くなるが、四季のある日本では、季節により細胞の生長が異なっている。太陽から受ける光エネルギーは春～夏に強いため細胞が大きくなり白っぽく見えるが、秋～冬には光エネルギーが弱く細胞が小さく黒っぽくなる結果、木の切り口は白黒同心円となり、一年の変化が年輪として残る。また樹種・生育環境によって木の幹の生長、すなわち幹周り増の速度が異なるので、木の幹周りのみで樹齢を推定することはできない。



鹿児島県にある日本有数の巨樹２本、前号で報告した蒲生の大楠と、有名な縄文杉について幹周りと推定樹齢から、年輪を概算してみると、縄文杉の年輪幅が非常に小さいことがわかる。

- **姶良市蒲生の大楠（幹周り日本一）**：幹周り 24m　樹齢 1500 年
  →幹周り 16mm／年＝**年輪幅約 2.5 mm**
- **屋久島の縄文杉（樹齢日本一）**：幹周り 16m　樹齢 4000 年＊
  →幹周り 4mm／年＝**年輪幅約 0.6 mm**

＊縄文杉の樹齢について確たる値はないが、約 7000 年前に発生した火砕流によって、屋久島を含む九州南部諸島の大型植物は全滅したと推定され、最近、縄文杉の樹齢は 4000 年が定説となりつつある。

また、屋久島では樹齢 1000 年以上の杉を「屋久杉」と呼ばれているとのこと、たまたまその屋久杉で作られたキイホルダーを入手したので、年輪写真を撮った所、年輪幅は約１mmで、上述の縄文杉からの概算値に近い値となった。一方、写真下は生長の早い木として知られているセンダン、枚方市淀川河川敷にあった切株であるが、年輪幅は矢印間で 25 mm、一年間の成長速度は屋久杉の 25 倍もあった。

センダンの年輪幅が 25 mmもあったのは、①他の木により早く太くなる木である、②河川敷で日光がさんさんと受ける、③場所的に水不足の心配がない、など光合成に必要な条件がそろっていることによる。このセンダンの周囲には、年輪 20 年で幹周り 200 cmの木が多く、太い樹では年輪 25 年で 300 cmを越えた木もあった。

（尚、写真センダンの切り口に屋久杉の年輪に似た斜めの線は、チェンソーでの切り口変動である。）

４．PartⅢ調査結果をどうまとめるか

大木調査 PartⅢは今年度中（３月末まで）に終了する予定であるが、調査終了次第、結果集約作業に入りたいと考えている。PartⅠ、PartⅡでは調査結果を冊子とマップに集約したが、PartⅢはどのような形式でまとめるかについて、1/8 大木会議を開催した。

これまで同様、冊子の基礎データは必要と思うが、冊子を購入した人のうち、実際に利用している人がどれだけあるか勘案すると、多くの人に利用してもらえるアウトプットの必要がある。

①もっと楽しいもの
②調査方法がわかるもの
③動きあるもの
④子供が興味を持つもの

など、いろいろな意見がでた。

マップ例（奈良公園の巨樹）　　奈良市・巨樹を楽しむ会

しかも情報発信ツールが多様化し、それを利用し情報を得ている人が多いので、その層に「吹田の大木」を知ってもらうことで、今後、PartⅣ以降への調査に対し協力者を開拓することになる。また、印刷費用がかかる冊子の代わりに、ＤＶＤ出版もあるのでないかとの意見も出た。

今後、調査終了の３月まで大木会議を数回開催し、どんな報告様式で、どんな内容にするかなど、調査結果集約の企画を作成し、来年度につなぐ予定である。

千里コラボ大学校講座

千里の自然を見続けて

～野草から見た生物多様性、 吹田の古木・大木の変遷～

まちなみ委員　金指 弘

千里コラボ大学校は豊中市千里文化センター（愛称「コラボ」）市民実行委員会事業の講演会（毎月一回、第二土曜日）です。今回は、当会理事の平軍二さんが続けてこられた大木調査と野鳥調査、野草調査に取り組んだ話をされ、自然を観察する面白さ、自然を愛する大切さを思い起こさせられた講演でした。

12 月 9 日(土) 千里文化センター「コラボ」にて「千里の自然を見続けて ～野草から見た生物多様性、 吹田の古木・大木の変遷～」をテーマで平軍二さんの講演があり約 50 名の参加者で盛況でした。

平さんは「吹田野鳥の会」代表でもあり、当会が実施する大木調査だけでなく野鳥調査や野草の調査もされています。

最初に当会の各種活動と吹田市の自然環境調査の結果資料の紹介がありました。①吹田市の緑のマップ　②ツバメの巣マップ　③街路樹マップ（吹田の景観の宝物）など

講演は 2 部構成でした。

◆第 1 部（約 50 分）

「野草から見た千里 NT・吹田の生物多様性」

平さんは最初に、「野草の観察は、名前を覚える事が第一で、その野草の特徴をつかむ事を通じて、他の生き物とのつながりを調査・観察することにになった。その野草の環境（草地、田んぼ、樹木、鳥など）を調査・観察するにつれ生物多様性の大切さを感じた。」と話され、自然観察に取り組む思いがよくわかりました。

吹田の希少種や植物相など、全体が俯瞰できる話をしていただき「自然と共生する街づくり」の必要性を改めて考える機会となりました。

吹田の希少種4種・絶滅危惧（レッドリスト）ランク

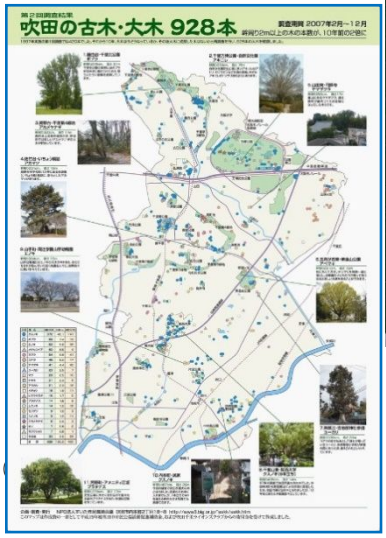
吹田の希少種		環境省(全国)	大阪府(RDB2000)	大阪府(RL2014)
①	ヤマサギソウ	ランク外	絶滅ではなく、大阪府には元々なかったとされていた	絶滅危惧Ⅰ類
②	アイナエ	ランク外	絶滅	絶滅危惧Ⅰ類
③	イヌセンブリ	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
④	スズサイコ	準絶滅危惧	絶滅危惧Ⅱ類	絶滅危惧Ⅱ類
(参考)	ヒメボタル	ランク外	準絶滅危惧	準絶滅危惧

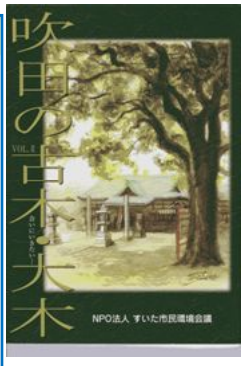
吹田市の調査報告をされていますが、豊中市にも田んぼや草地を見れば、いろんなものが出てくる筈、との思いも話されました。

◆第 2 部（約 50 分）「吹田の古木・大木の変遷」

1997 年から 10 年毎に実施している大木調査について、2017 年から始めた大木調査の第 3 次に至る思いやその目的などもよく分かりました。

環境省が「巨樹リスト　樹周り 3m」を吹田では「大木リスト　樹周り 2m」と読み替えすることで、吹田市の大木候補も含めた調査をすることにより、大木の盛衰を詳細に調査するとしたなど、とても興味を持って聞きました。





2017 年調査の「吹田の古木・大木」マップ(左)と冊子(上)

＜すいたの古木・大木調査の結果＞

Part Ⅰ（1997 年）　420 本

Part Ⅱ（2007 年）　928 本

Part Ⅲ（2017 年）調査中だが、2007 年の倍増か？

長時間にわたる講演でしたが、平さんは、まだ語り足りないようでした。平さんの自然に対する熱い思いが健康の秘訣のように思えました。

講演前にはプロのピアニストによるピアノ演奏、講演後には「コラボ」4 階 千里図書館司書による講演関連図書紹介があり、千里文化センター「コラボ」の講演会らしい演出と施設紹介でした。

また、毎年 2 月頃に大阪大学の院生・学生が研究成果の発表を行う「大阪大学千里研究発表会」もあるそうで、豊中市ですが千里中央にあり興味ある発表が楽しめる講演会だと思いました。

吹田市観光マップ『あルック吹田』散策会(12)
旧吹田村コース

まちなみ委員　田中一子

快晴の 12 月 7 日(木)午前に 13 人で旧吹田村コースを散策しました。このコースも色々な所に変化が見られ、古い家もどんどん建て替わっていました。更地も点在しています。

①泉殿宮

本殿大屋根の大修理に合わせて、だんじり小屋も改修され、だんじりが外から見えるようガラスの扉になっていました。また、本殿への昇段のためのスロープが設けられ、こんなところにもバリアフリーの対応が見られます。屋根ふき替えの部材・鬼板・写真などの展示説明が掲示されていました。鳥居は石製と思っていましたが銅板製。

②田中町の天照皇大神宮(あまてらすこうたいじんぐう)

吹田街道沿いにある天照皇大神宮は田中町鎮守社、通称「ちんちんさん」でした。この社について、2005 年に自治会が発刊した『田中町の歴史』に載っています。なぜ天照皇大神なのか、議論になりました。明治時代に政府の行政指導で小さい社を大きい神社に合祀していました。それに抵抗する地元民が天照皇大神を祀って、天皇さんの先祖を軽々しく移さない理由にしたのではないか、などと話しました。

③常光円満寺

新しい施設を建設中。

④光徳寺

親鸞像の後ろに菩提樹があります。できた実がプロペラをつけて地面に落下します。まだ木にも残っている実もあります。1 つのプロペラに実が 3 つもついているものを見つけました。

鐘楼の天井に彫られた見事な竜を溜息をつきながら見上げました。

また、南隣の民家が取り壊され更地になっているので光徳寺の全景がよく見えます。

⑤福田邸の吹田市内最大の大木

民家の中に幹回りが 467cm(2007 年調査)の吹田最大のクスノキがあります。枝や落葉が近所迷惑になるので数年前に思い切り剪定しましたが、青々と茂ってきました。

⑥浜屋敷

吹田市で唯一「まちの駅」になっている浜屋敷でコーヒータイム。喫茶ボランティアさんのお蔭で美味しいコーヒーなどが 1 杯 150 円で飲めます。喫茶は月曜日は休業日です。

写真右
参加者一同

⑦高浜神社

境内に大きな牛の座像があります。大正元年に近くの人が寄進しました。多くの天満宮に牛の座像があります。祭神である菅原道真公と牛に関わる伝承が数多く残っているためです。高浜神社にも天神さんが祀られています。

⑧メロード吹田

まち歩きの最後は、メロード吹田の最上階にある「第一楼」で中華バイキングを楽しみました。

千里ニュータウンまちびらき55年記念 第16回千里ニュータウンまちづくり市民フォーラム

日本の『ニュータウン人』が千里に集まる

第７回『ニュータウン人・縁卓会議』 報告

テーマ：これからが、ニュータウンの時代

奥居　武　（千里市民フォーラム　藤白台在住）

千里ニュータウンが日本で第一号の大規模ニュータウンとされていることはよく知られていますが、それでは千里以外の「他のニュータウン」、皆さんはどれだけご存じでしょうか？

多摩ニュータウン、泉北ニュータウン…このあたりは有名ですね。多摩は東京を代表するニュータウンとして千里と並び称されますし、泉北は、千里と同じ大阪府が手がけた「弟分」です。港北ニュータウン、須磨ニュータウン、西神（せいしん）ニュータウン…このあたりになると知らない方もいるでしょう。港北は横浜。須磨、西神は神戸にあります。金沢シーサイドタウン。これは石川県ではなくて横浜市金沢区。香里団地。香里ニュータウンと言われることもありますが、ここは千里より古くてずっとコンパクトな、「プレ・ニュータウン」的な存在。明石舞子団地。明舞（めいまい）団地とも言われますが、ニュータウンと名乗っていなくても、千里に続いて建設されたニュータウン的な存在です。

そういった「千里の仲間的」な町同士で、縁のあった人が集まって情報交換しよう…という集まりが、昨年（2017年）12月10日、南千里で開かれたのが「ニュータウン人・縁卓会議」です。

実は2006年に始まって、いろんなニュータウン持ち回りで続けられ、今回は7回目になります。

公的な代表によるサミットではなく、それぞれの地域で活動している住民・市民、研究者、行政関係者による草の根的な交流会です。今回は80名以上が集まりました。吹田市から池田一郎副市長、豊中市から田中逸郎副市長にも出席いただきました。

第一部は、多摩＋港北を設計した元日本住宅公団の川手昭二さん(91歳)と、千里＋泉北を設計した元大阪府企業局の片寄俊秀さん（79歳）の大御所ビッグ対談「ニュータウンをもくろんだ頃」。日本住宅公団と大阪府企業局は、高度経済成長期のニュータウン開発のライバル的存在でした。「今だから話せる秘話」も伺いました。

ソウルからも、果川（くぁちょん）新都市というニュータウンの研究者・陳 泌秀（チンピルス）ソウル大学教授（吹田市立博物館の千里ニュータウン展にも参加）が来てくれました。ニュータウンは国を超えた存在でもあるのです。

川手さん（元日本住宅公団）×片寄さん（元大阪府企業局）

ニュータウンの設計には共通のセオリーがあり、それらの町は、遠く離れていても、やはり似たところがあります。同じＤＮＡを持った親戚同士のようなもので、ふだん会ってなくても、似ているのです。町の造りも、住民のプロフィールも、町が変化していって起きてくる問題も…。ニュータウンはただ新しいからニュータウンなのではなく、古くなってもニュータウンなのです。それは城下町が、お殿様がいなくなっても天守閣がなくなっても城下町であるように、ひとつの町のジャンル

なのです。たとえば千里ニュータウンは、多摩ニュータウンと、吹田の旧市街地とどちらに似ているかと言えば、前者でしょう。しかしもちろん、東京のおじさんは東京弁を話している。その組み合わせのバリエーションが面白いところです。

そんなわけでこの縁卓会議、はじめて会った同士でも、あっという間にうちとけておおいに盛り上がりました。自分の町の課題は遠い町の課題でもあり、遠い町のアイデアは自分の町のアイデアとして使えるかもしれません。ニュータウンは周囲の町と違う個性を持つために孤独な存在になってしまうことがありますが、仲間はこんなにたくさんいたのだと実感できたのかもしれません。

第二部は川手さん、片寄さんに下表のメンバーが参加して縁卓座談会。「各地のニュータウンは。いま。」を紹介、最新の情報を交換しました。

縁卓座談会　参加メンバー　（敬称略）

- 田所 喬（多摩ニュータウン/東京）NPO フュージョン長池
- 室田昌子（港北ニュータウン/神奈川）東京都市大学
- 中津秀之（金沢シーサイドタウン/神奈川）関東学院大学
- 柴田明宏（香里団地/大阪）　ＰＰＩ計画・設計研究所
- 柳川宗一（泉北ニュータウン/大阪）泉北ニュータウン学会
- 瀧石裕樹（千里ニュータウン/大阪）千里市民フォーラム
- 梶木典子（須磨ニュータウン/兵庫）神戸女子大学
- 橋本彰（西神ニュータウン/兵庫）西神ニュータウン研究会
- 野崎隆一（明石舞子団地/兵庫）神戸まちづくり研究所
- 陳 泌秀（果川新都市/韓国）　ソウル大学日本研究所

今回の縁卓会議では、趣向を凝らして第三部「ニュータウンＣＭコンテスト」もやりました。そのニュータウンに住みたくなるような 90 秒までの動画を作ってもらって、あらかじめネットで投票してもらい、当日会場でも審査して優秀作を選ぶという企画を通じて、町の魅力を発見し、お互いの町に関心を持ってもらおう…という狙いです。

メロディーに乗せた手話で町を紹介したり、犬の目線で町を徘徊したり、面白い作品が集まりました。そしてどの作品がどの町の紹介であってもおかしくないほど、それぞれのニュータウンは「ひとつの町」のように感じられたのです。

ニュータウン CM コンテスト参加作品

No.01「泉北ラップ」（泉北ニュータウン）
No.02「北町動物園」（千里ニュータウン）
No.03「歴史・緑・都市空間が共存するまち～港北ニュータウン」（港北ニュータウン）
No.04「すまう。遊ぶ」（須磨ニュータウン高倉台）
No.05「すまう。趣味」（須磨ニュータウン高倉台）
No.06「New Standard 泉北ニュータウン」（泉北ニュータウン）
No.07「港北ニュータウンまち歩きツアー」（港北ニュータウン）
No.08「千里ニュータウン」（千里ニュータウン）
No.09「犬もビックリ」（西神南ニュータウン）
No.10「いずみがおか広場つながる 10Days 広場使用者募集 CM」（泉北ニュータウン）
☆No,03 が最優秀作品に選ばれました。

インターネットの時代になって、「物理的に離れている似た者同士」が交流することは、はるかにやりやすくなりました。お互いに知り合いになって、次は千里の仲間と一緒に、いろいろなニュータウンを訪問してみたいと願っています。そして明るくて前向きな千里の個性が、ニュータウンの輪の真ん中にいるように頑張らなくては！

＜参考＞

1．「縁卓会議」および「ニュータウン CM コンテスト」は千里市民フォーラムのホームページからも御覧になれます。http://senri-forum.com/
2．ニュータウンについては季刊民族学（千里文化財団発行）No161 特集「千里から考えるニュータウンとそのゆくえ」が参考になります。

ニュータウン人・縁卓会議　会場風景

＜私の本棚より お勧めの一冊＞

城山三郎著 『大原孫三郎の生涯』
～わしの眼は十年先が見える～

会報委員　松岡要三

大原孫三郎に特に大きな興味を持ったのは昨年４月、岡山県備前市にある旧閑谷学校を訪れたことによる。旧閑谷学校とは、1670 年（第 4 代将軍徳川家綱の時代）岡山藩主池田光政が日本で初めて「庶民のための学校」を備前の閑かな谷深き地に設立、閑谷学校と名付けられました。日本の歴史を作った有能なリーダを輩出しました。その旧閑谷学校への道中に掲示されていたリーダの一人が実業家・社会事業家の大原孫三郎です。

倉敷と云えば大原美術館、運河沿いの家並み、アイビースクエア・・・私のお気に入りの観光地ですが、倉紡、倉レ、大原家で云えば、リベラルな経営者・大原総一郎はよく知っていましたが、孫三郎のことはほとんど知りませんでした。

旅行から帰り、古本屋で見つけたのが城山三郎のこの本です。

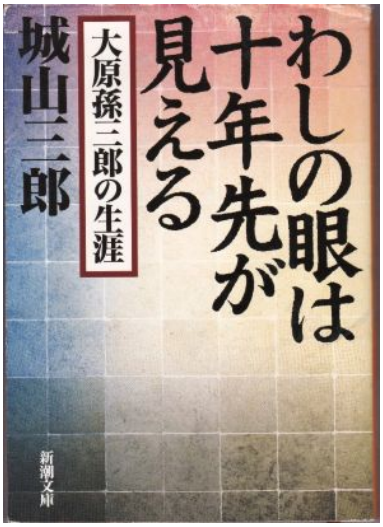
大原孫三郎は倉敷市の大地主で倉敷紡績社長の大原孝四郎（1833(天保 4)年～1910(明治 43)）の三男として 1880(明治 13)年生まれの実業家・社会事業家です。

倉敷紡績、倉敷絹織（現在のクラレ）、中国合同銀行（中国銀行の前身）、中国水力電気会社（中国電力の前身）の社長を務め、産業の近代化を進め、大原財閥を築き上げました。

社会、文化事業にも熱心に取り組み、岡山孤児院（現・石井記念愛染園）、大原美術館、大原奨農会農業研究所(現･岡山大学資源生物科学研究所)、倉敷商業補修学校（現・県立倉敷商業学校）、大原社会問題研究所（現・法政大学大原社会問題所）、倉敷労働科学研究所（現・大原記念労働科学研究所）などを設立し、一人一人が輝く社会、働き方改革、社会改革、社会福祉の基礎を作りました。

孫三郎の人生は決して順調とは云えませんでした。長男や次男が幼少の頃になくなり、父孝四郎 48 歳時生まれた三男坊、恵まれた商家の尋常小学校の４人の友達は皆京都や東京へ進学したのに対し、少し甘く育てた不安、荒い小遣いの使い方を心配した孝四郎は岡山県下にあり規律と質素で定評のある全寮性の閑谷黌へ送りこみました。

孫三郎は、ここの教育が古くさく窮屈でなじめず、また上級生や同級生ともなじめず、いじめられ､このままでは大きな騒動を起こすように思い、東京への遊学を願い出て、明治 30 年 1 月東京神田の下宿に入り入試に備え英語を習い､6 月に東京専門学校(現・早稲田大学)に入学する。



新潮文庫　平成９年５月発行

元々、勉学より新しい世界、隔てなく付き合える友を得たい気持ちの強い孫三郎は、遊びに事欠かない東京の生活で膨大な借金を抱えることになる。

帰省せよとの父の命令に応じない孫三郎の前に現れたのが、孫三郎の帰省と借金の清算を命じられた長姉の夫・原邦三郎。だか、その借金清算交渉中に脳溢血で倒れ、長姉と共に義兄の棺と共に東京から倉敷まで帰省することになる。

明治 31 年 10 月 18 歳での人生の転換点。これから大きな十字架を背負って歩むことになる。

倉敷に戻り、空しくけだるいある日、東京の下宿仲間で３泊４日の足尾銅山へ誘ってくれた森三郎から手紙と書籍、二宮尊徳を描いた「報徳記」が送られてくる。対等で尊敬できる森のような男こそ本物に友達である。嬉しさのあまり一気に読み終え､森のような友人がほしいと痛切に思った。

そして、ほどなく 15 歳年上の岡山孤児院の石井十次に出会い、その活動に感銘を受け、その生き方、社会福祉事業にも興味を持つようになり、後に工員の職場環境改善、小作人の農業改善に取り組む。明治 34 年、十次の紹介で福山誠之館初代校長の石井栄太郎の四女スエと結婚、倉敷紡績に入社し経営者としても新しいスタートを切る。

明治 39 年 27 歳で社長就任､昭和 14 年 60 歳で息子の総一郎に引き継ぐまで､10 年先を見据えた改革のドラマと人との出会いがあります。

最後の章は、孫三郎が残した「いちばんの傑作」として､息子の総一郎とのことが記されています。

今の時代に、是非皆さんに読んで頂きたいお勧めの一冊です。

吹田のトピックス

ヒメボタル生息地クリーン大作戦

吹田ヒメボタルの会　塩田敏治

吹田市の天然記念物「ヒメボタル」の今年の発光数は 9922 で過去最高を記録しました。これは永年にわたる生息地保全活動～竹の伐採や清掃活動に多くの地元住民に参加していた結果と感謝しています。

昨年 11 月 23 日(月)勤労感謝の日 9:30 から吹田ヒメボタルの会・NPO 法人吹田みどりの会の共催、吹田市公園みどり室・西山田ふらっとサロン・西山田地区公民館の協力でヒメボタル生息地クリーン大作戦がありました。

遊歩道の柵を開いて
緑地の中のごみを集めます

緑地にオオキンケイギクが
侵入してきたので同時に
駆除しました

ごみはハンガー、ボール、空き缶などでした
賞味期限切れの 500cc の缶ビールありました

ハンガーで作ったカラスの巣が
こわれて大量のハンガーが
みつかりました

高町池にヒドリガモ、カルガモ、
ゴイサギなどがいました

初詣　吹田市内八社巡り

まちなみ委員　岡村昇二（吹田まち案内人）

1 月 10 日(火)吹田まち案内人主催で、市内の神社八社を徒歩で回る恒例の行事です。市の南西部・江坂駅からスタートして、北東部・山田駅までの 18km 約 33,000 歩の長丁場でした。

参加は一般応募とスタッフを加えて 40 名で、当会からも小田会長はじめ 7 名が参加、浜屋敷で昼食。寒さと一時雨の中を元気に歩きました。80 歳を超える光齢者も。

道　順

江坂神社へ到着の一行

⇒　垂水神社
垂水の瀧の流れ僅かに

⇒　片山神社
八社の中で一番の絵馬

⇒　泉殿宮
弓を引く宮司さん

⇒　高浜神社
十日戎で一番の賑わい

⇒　吉志部神社

⇒　佐井寺伊射奈岐神社

⇒　山田伊射奈岐神社

～ 知床あれこれ ～

理事　小田信子

世界遺産に登録された北海道知床半島のことはご存知でしょう。その知床のあれこれを何度かに分けてお話しします。知床の最近の大きな悩みの一つを９月に目撃してきました。秋、鮭が川に上ってくる時期に増える釣り人とヒグマです。

クマはとても賢い動物です。雑食性でしかも大きい。ヒグマはメスでも 300kg 位の大きなものもいるようです。秋になるとやってくる鮭を食べに、ヒグマは川や海岸に山から下りてきます。

そして、釣り人や観光客が捨てたゴミの中に食べ物があると、労せず食べ物が手に入ることを覚えます。その後、人のいるところへ出てくるようになります。

鮭の孵化場に柵を登って入ったことさえあるとのこと。このように、人のいるところへ出てきたクマを追い払うことに地元の担当者は苦心しています。人への被害を予防するために、時には駆除せざるをえないこともあると聞きました。クマと人間の共存はとても難しいことだと思います。

人のいるところへ行けば、少なくとも食べ物が手に入るという経験だけはさせない努力が人の側に求められていると思います。

すいた環境教育フェスタ 2018 のご案内

・日時：2 月 3 日(土)10:30～15:30
・場所：万博記念公園東 くるくるぷらざ
（吹田市資源リサイクルセンター）
☆当会も出展します。見に来て下さい。

国立民族学博物館 開館 40 周年記念特別展
「太陽の塔からみんぱくへ― 70 年万博収集資料」

・会場：国立民族学博物館　特別展示館
・会期：2018 年 3 月 8 日(木)～ 5 月 29 日(火)

国立民族学博物館が所蔵する、「日本万国博覧会世界民族資料調査収集団」が 1968 年から 1969 年にかけて収集した世界の諸地域の標本資料、資料収集に関連した書簡や写真等の諸資料を展示、公開し、60 年代後半から 70 年代にかけて世界が大きく動いていく状況のなかでの民族文化や地域社会の様相を、現地における収集活動の様子やコレクションから描き出します。(引用 http://www.minpaku.ac.jp/museum)

「あルック吹田」散策会のご案内

奇数月は第１土曜日、偶数月は第１木曜日に開催
会員の皆様と楽しい交流ができることを期待しています。

・第 13 回　3 月 3 日(土) 正雀安威川コース　　集合：正雀駅改札前
・第 14 回　4月 5 日(木) 万博記念公園コース　　集合：万博記念公園総合案内所前
・第 15 回　5月 12 日(土) 片山豊津コース　　集合：北千里駅改札前
・集合時間：9 時 30 分（小雨決行）　・解散時間：12 時頃
・参加費：会員 200 円、非会員 300 円
・申込み先：金指 弘（かなさしひろし）　メール：kanasashi@sutv.zaq.ne.jp
FAX：06-6310-7333　TEL：090-6054-1767
☆住所、氏名、電話番号、会員・非会員　明記の上申込み下さい。

＜会報委員会より＞

・幅広く会員からの情報提供(原稿)を求めています。身近な話題をお寄せ下さい。
また、取材・編集・印刷に協力願える方を募集しています。
・連絡先：松岡要三　TEL 090-6974-1058　メール matsuokayh3@sutv.zaq.ne.jp